

防災プチ学習について

～防災プチ学習の目的～

- 災害についての基本的な知識を身につけ、万が一災害が発生した場合に自分の身を守るための適切な行動をとることができる。(自助)
- 災害発生時に自分のできることを考え、周囲の方々と協力しながら実際に行動することができる。(共助)
- 災害発生時の避難所設営、日常生活の回復のために地域や行政がどのように関わるのか理解することができる。(公助)

～防災プチ学習目標～

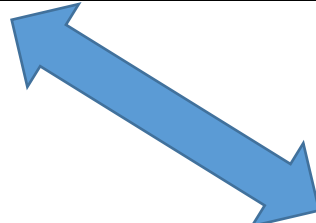
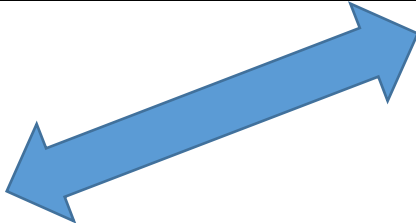
学校教育目標

人間尊重の精神を基底におき、知徳体が調和し、生きる力に満ちた生徒を育成する。



防災教育目標

根拠をもとに正しく判断し、自他の命を守るために主体的に行動できるようになる。



1年生

災害についての基本的知識を身につけ、身を守るために適切な行動をとることができる。



2年生

災害発生時に自分にできることを考え、主体的に行動することができる。



3年生

災害発生時に自分にできることを考え、周囲の方々と協力しながら主体的に活動することができる。

～実施日及び時間～

- 毎月16日を「防災の日」と設定し、防災プチ学習を実施する。
- 活動日課を活用し、15分のプチ学習を行う。
- 学習形態は、担当者でその都度効果が見込まれる学習形態で行う。

2019年度 防災プチ学習実施計画

実施月	1年生学習内容	1年生関連教科等	2年生学習内容	2年生関連教科等	3年生学習内容	3年生関連教科等
一学期						
4月	・避難訓練事前学習、身の守り方 ・避難訓練の意義	・避難訓練、学活(防P3～P6)	・避難訓練事前学習、身の守り方 ・避難訓練の意義	・避難訓練、学活(防P3～P6)	・避難訓練事前学習、身の守り方 ・避難訓練の意義	・避難訓練、学活(防P3～P6)
5月	・集団行動(災害発生時の避難について) ・防災の意義、間仕切り、スリッパ作り等	・総合、保健体育(防P5～P6)	・土砂災害について理解	・理科、学活(防P13、上天防P9～P10)	・避難所ケース学習：その時あなたはどのようにする？(避難所での対応)	・道徳、学活(防P76～P79)
6月	・自分の住む地域に潜む災害 防災ハザードマップから気付こう	・総合(上天草市防災マップ活用)	・大雨洪水について理解	・理科、学活(防P11、上天防P7～P8)	・避難所運営ラーニング：どうすれば避難者が安心して過ごせるのか？(様々な人への対処)	・国語、英語、道徳(防P80～P87)
7月	・我が家の防災対策(親子de防災会議準備) ・夏休みの過ごし方	・学活(学校防災教育指導の手引き活用、赤十字資料)	・我が家の防災対策(親子de防災会議準備) ・夏休みの過ごし方	・学活(学校防災教育指導の手引き活、赤十字資料)	・我が家の防災対策(親子de防災会議準備) ・夏休みの過ごし方	・学活(学校防災教育指導の手引き活用、赤十字資料)
二学期						
9月	・総合避難訓練に向けて。自分達にできることを考えよう(各委員会) *避難訓練(避難所開設訓練)9/28	・総合、委員会活動	・総合避難訓練に向けて。自分達にできることを考えよう(各委員会) *避難訓練(避難所開設訓練)9/28	・総合、委員会活動	・総合避難訓練に向けて。自分達にできることを考えよう(各委員会) *避難訓練(避難所開設訓練)9/28	・総合、委員会活動
10月	・避難訓練を振り返って 自分達にできることを考えよう	・学活、委員会活動	・避難訓練を振り返って 自分達にできることを考えよう	・総合、委員会活動	・避難訓練を振り返って 次のリーダーに伝えよう(改善)	・総合、委員会活動
11月	・地震についての理解① (地震発生のメカニズム)	・理科、数学(防P7～P8)	・日頃からの災害の備えについて 職場体験先の防災の取組	・保健体育、家庭科(防P76～P79)	・避難訓練を振り返って 次のリーダーに伝えよう(発表)	・国語、総合、委員会活動(防P93、上天防)
12月	・地震についての理解② (地震発生直後の安全な身の守り方、取るべき行動)	(熊本地震を学び、次の災害に備えるDVD活用)	・災害の備えについて考え、家族に伝えよう	・保健体育、家庭科(学校防災教育指導の手引き活用)	・地域のために中学生ができること	(学校防災教育指導の手引き活用)
三学期						
1月	・地震についての理解③ (地震に伴う二次災害)	(学校防災教育指導の手引き上天草市防災マップ活用、赤十字資料)	・避難所運営ラーニング：中学生ができることってどんなこと	・委員会活動、総合(防P80～P87)	・震災発生時の心のケア(ストレス解消方法)	・保健体育、学活(防P2～P5、心のケアハンドブック)
2月	・地震についての理解④ (二次災害から身を守るために)	(学校防災教育指導の手引き活用、上天草市防災マップ活用)	・避難所運営ラーニング：どうすれば避難者が安心して過ごせるのか？	・委員会活動、総合(防P80～P87)	・新しい生活に向けて、災害に備えよう	・学活、総合(学校防災教育指導の手引き活用)
3月	・地震についての理解⑤ (正しい避難情報と情報端末)	(学校防災教育指導の手引き活用、上天草市防災マップ活用)	・新しい学校のリーダーとして(先輩からの引き継ぎ)	・学活、委員会活動	・新しい生活に向けて、広げよう 防災意識	・学活、総合(学校防災教育指導の手引き活用)

1年生防災学習（15分）指導案

令和元年7月11日（木）

題材名：自分の住んでいる地域に潜む災害	参考資料：上天草市防災マップ
ねらい：自分の住んでいる地域ではどのような災害が起きる可能性があるのか知り、どこに避難すると安全なのか考えることができる。	

学習形態【 全校 ・ 学年 ・ **学級** ・ 各グループ（ 4～5人 ） 】

場所：各学級

時間：8：15～8：30（15分）

展開

	学習内容 ★発問等	○教師の支援◎指導のポイント	準備物等
導入 3分	①自分の住んでいる地域に起きる可能性のある災害について考えさせる。 ★みなさんの住んでいる地域にはどのような災害が発生する可能性があるのでしょうか？	○地形などの特徴、過去の災害の様子などから考察するように伝える。 ◎どんな災害があるのか、例を挙げて考えさせる。	PC パワーポイント ワークシ
展開 10分	住んでいる地域の災害について考えよう。		
まとめ 2分	②班ごとに分かれ、防災マップを使って、自分の住んでいる地域でどのような災害が起きる可能性があるか知る。 ★それぞれの家を探し、どんな危険があるのか知ろう。 ③自分の住んでいる地域でどのような災害が起きる可能性があるのかを知っておくことで速やかに避難することができることを考える。	○それぞれの色に注目させる。 ○声かけを行いそれぞれ住んでいる地域にどのような危険があるのか知ることができるようにする。 ○災害が起きたときにどこに避難するといいのか考えさせる。 ◎万が一災害が発生した時にどこに避難すると安全なのか聞く。	上天草市 防災マップ（各班に2冊ぐ らい）

授業の気づき

- 生徒の中には初めて上天草市の防災マップを見る生徒もあり、自分の住んでいる地域にどのような災害が起きる可能性があるのかなどよく調べ、気付いたことをまとめた。また、避難場所の確認も合わせて行うことができた。
- 各家庭と連携し、事前に家庭での聞き取り調査等を入れていくことで、防災マップを確認することの重要性について生徒だけでなく保護者も気付くことができたと思う。
- 気付いたことを共有する場を設定することで、自分の地域だけでなく、他の地域についても関心を持つことができたと思う。

2年生防災学習(15分)指導案

令和元年7月11日(木)

題材名：大雨洪水について理解しよう	参考資料：上天草市防災マップ
ねらい：大雨洪水について理解し、適切な行動をとり、自分や周囲の人の命を守るために行動することができる。	

学習形態【 全校 ・ 学年 ・ **学級** ・ 各グループ () 】

場所：各教室

時間：8：15～8：30 (15分)

展開

	学習内容 ★発問等	○教師の支援◎指導のポイント	準備物等
導入 3分	①上天草市の大雨について ★最近の大雨で危険な場所などありませんでしたか？ ・雨が降った時の様子の写真を見せる	○ワークシートの様子を記入し、教師も現状を把握する。 ◎数名の生徒を指名し、意見を共有する。	PC テレビ パワー ポイント ワーク シート
大雨洪水の際の避難について考えよう。			
展開 10分	②大雨洪水警報について ★テレビなどで流れる警戒レベルを知っていますか？ ・警戒レベル一覧を見せ、それぞれの警戒レベルの意味について説明する。	○視覚資料を使いながら説明する。実際に数日間の上天草の警戒レベルを聞いたときにどのような行動をとっていたのか尋ね、振り返りをさせる。	
まとめ 2分	③避難のポイント ★大雨避難の時の正しい避難の方法についてのクイズを出します。正しい方を選んでください。 ・正しい方を選ばせる。 ④率先避難者になるために ・中学生が率先避難者になり、自分や周囲の人の命を守りましょう。	◎今後この警戒情報をもとに活動することの大切さを考える。 ○クイズ方式で行い、全生徒が考えられるようにする。 ○地域の中で率先避難者になることの大切さを押さえる。	
授業の気づき ○丁度大雨の後だったため、実際に見たり経験したりしたことから、危険箇所について意見を出し合うことができていた。クイズ形式の避難のポイントについても、考えたことを共有しながら全員で確認することができた。 ●警戒レベル一覧や正しい避難方法については、家庭でも話す機会を宿題として設定すると、家族全員で共有し、備えることができたと思う。			

防災学習（15分）指導案

令和元年7月11日（木）

題材名：土砂災害について理解しよう	参考資料：上天草防災マップ
ねらい：土砂災害について理解し、適切な行動をとり、自分や周囲の人の命を守るために行動することができる。	

学習形態【 全校 ・ 学年 ・ **学級** ・ 各グループ（ ） 】

場所：各教室

時間：15分（8：15～8：30）

展開

	学習内容 ★発問等	○教師の支援◎指導のポイント	準備物等
導入 5分	①過去に天草で起きた土砂災害について知る。 ★過去に天草で起きた土砂災害について知っていますか？ ・パワーポイントを活用し天草大水害についておさえる。	○土砂災害が身近に発生する可能性が高い災害の一つであることを抑える。 ◎数名の生徒を指名し、意見を共有する。	PC テレビ パワーポイント ワークシート
展開 8分	土砂災害からの身の守り方を知ろう。		
まとめ 2分	②前兆について知る。 ・ワーク裏面の前兆や避難の方法などを見ながら考える ③自分の住んでいる場所が警戒区域なのかどうか確認する。 ④土砂災害警戒情報について知る。 ・情報を得ることの大切さを理解する。 ⑤避難のポイントについて考える。 ・自分の家のことを考える。 ⑥まとめ ・まとめを全員で確認する。	○資格資料を使いながら説明する。大切な語句などにはライン等を引くように促す。 ○黒板に各地区の防災マップを貼り、確認させる。 ○土砂災害警戒情報について確認する。 ○避難の仕方について押さえ、万が一の時は落ち着いて行動することを促す。 ○自分にできる避難行動等について確認する。	

授業の気づき